

2025年3月19日

建築研究開発コンソーシアム  
正会員・準会員・学会会員 各位

建築研究開発コンソーシアム  
インキュベーション委員会

## 2024年度 研究企画ミーティング開催のご案内 宅地擁壁の耐震性向上(第2回)

謹啓、時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、当会の運営並びに事業に関し、ひとかたならぬご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、2024年度 研究企画ミーティング「宅地擁壁の耐震性向上(第2回)」を下記の通り開催いたします。  
当該分野に関心をお持ちの関係者へご案内くださいますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

謹白

### 記

#### 【概要】

建築物の敷地の安定、特に宅地擁壁の性能についてというテーマに沿って、石積み擁壁の地震被害と構造性能といった研究についての話題提供者の紹介、話題提供の概要を説明する。また、建築研究所で近年実施した宅地擁壁に関する研究課題を情報提供し、研究会の立ち上げに向けて会員との意見交換等を行う。

【プログラム】 別紙ご参照

【日時】 2025年4月18日(金) 13:15~15:15 ※13:00より受付開始

【会場】 BHCJ 講演室  
東京都中央区晴海 1-8-12 晴海トリトンスクエア オフィスタワーZ棟4階

【参加資格】 正会員・準会員・学会会員 ※第1回目のミーティングに参加されていない方も参加可能

【定員】 40名 【参加費】 無料

【申込締切】 2025年4月14日(月) ※定員に達した時点で締め切らせていただきます

..... 下記項目を明記し、メールにてお申込みください .....

- ・メールの件名 : 4/18 研究企画ミーティング「宅地擁壁の耐震性向上」
- ・メールの本文 : 社名、部署名、氏名(ふりがな)、TEL、E-Mail をお書き下さい
- ・申込先メールアドレス : lecture@conso.jp

※開催日の前日までに【参加票】をメールにて送付いたします。届かない場合はご連絡願います。

【問合せ先】 建築研究開発コンソーシアム事務局 研究企画ミーティング担当: 恩田  
E-mail : lecture@conso.jp TEL : 03-6219-7127

【4/18 プログラム(予定)】

内 容	時 間
受 付	13:00-13:15
2025 年度の勉強会の方向性 井上 波彦 氏〔国立研究開発法人 建築研究所 構造研究グループ長〕	13:15-13:35 (20分)
<p>話題提供①「石積擁壁の解析」 的場 萌子 氏〔国立研究開発法人 建築研究所 国際地震工学センター主任研究員〕</p> <p>地震時における避難や復旧経路の確保、そして建物の継続使用性の担保のためには擁壁近傍にある建物の影響や周辺道路への影響を考慮できる耐震性能評価法が必要であり、空石積み擁壁の近傍に直接基礎建物が設置された場合を対象として、遠心載荷実験及び有限要素解析、正弦波入力による地震応答解析を行い、空石積み擁壁－地盤－建物系の振動特性と空石積み擁壁の地震時損傷メカニズムについて考察検討した事例を紹介する。</p>	13:35-13:55 (20分)
<p>話題提供②「同 上」 柏 尚稔 氏〔大阪大学 工学研究科 地球総合工学専攻 教授〕</p> <p>近年、PC 性能の向上やソフトウェアの充実に伴って、高度な数値解析が身近になってきている。例えば、法規制以前のものや法令における規模制限未満の、一体性が十分に確保されていない宅地擁壁の地震時挙動は極めて複雑なものとなるため、当該問題には非線形 FEM 等の高度な数値解析が威力を発揮する。一方で、数値解析の限界を見極めることも大切であり、宅地擁壁の耐震問題に取り組むに当たって、解析法の妥当性を確認することが重要である。模型実験とそのシミュレーション解析事例を紹介し、今後の解析法の課題を考える。</p>	13:55-14:15 (20分)
休 憩	14:15-14:25 (10分)
<p>話題提供③「小規模宅地における石積み擁壁背面地盤の補強事例」 川崎 淳志 氏〔ミサワホーム株式会社 商品・技術開発本部 技術部 構造技術課〕</p> <p>小規模宅地の北側に高さ 3.2～3.4mの石積み擁壁があり、住宅の建替えに際し擁壁を補強する必要があった。擁壁は、住宅に囲まれ、また、隣接する宅地に連続していることから、「直接の補強」や「部分的な改修・新設」が難しい状況にあった。そこで、細径パイプを用いて擁壁の背面地盤を補強した。その補強事例を紹介する。</p>	14:25-14:45 (20分)
<p>話題提供④「擁壁の静的設計に向けて」 津田 雅丈 氏〔日本工営株式会社 地盤環境事業部〕</p> <p>平成23年の東北地方太平洋沖地震において擁壁中段がはらみ出すような被害を生じた宅地擁壁(ブロック積、高さ約2.4m)の動的FEM再現解析を通して、擁壁を含めた宅地盛土の事前対策や復旧に必要となるに宅地擁壁の地震時挙動や背面宅地の変形について、地震入力との関連について検討するとともに、動的挙動を考慮した擁壁の力のつり合いを想定することにより、耐震性の不足するブロック積み擁壁の耐震性を簡易に評価することができる静的設計法の構築に向けた検討事例について紹介する。</p>	14:45-15:05 (20分)
質疑応答、研究会立ち上げに対する総合意見交換、今後の進め方、等	15:05-15:15 (10分)

以上